

会長就任のあいさつ

田名部元成（たなぶ もとなり）
横浜国立大学

この度、経営情報学会長に就任することになりました田名部元成です。素晴らしいリーダーシップを発揮され、経営情報学の発展をリードしてきた歴代会長の後を受けて、当学会の会長職を務めさせていただくことを大変光栄に思います。複雑性、不確実性、曖昧性といった特性で語られるこの時代、そして、急速に進展する情報社会において、経営情報学の果たす役割はますます重要となっていくことは言うまでもありませんが、この変革が求められる真っ只中において、当学会の舵取りを担うことの責任の重大さを痛感しているところです。

会長任期中は、次の2点を目標として活動を展開したいと考えています。ひとつめは、経営情報学会の国内外における学術的プレゼンスの向上です。そのために、研究者間そして研究者と実践者の交流を促進することにより、学術知と実践知の共創をもたらし、それらの対話を通じて、世界に通用する学術的成果が生み出していけるよう当学会のケイパビリティを高め、持続的な発展ができる学会の実現を目指します。

ふたつめは、ニューノーマル時代の新しい学会スタイルの確立です。全国大会や研究部会などの学会の諸活動を捉え直し、デジタル技術を用いた新しい経験価値の会員への提供を促進し、変化の著しいデジタル社会において、継続的に知の創造が行えるイノベティブな学会の実現を目指します。

当学会は、経営情報にかかわる諸問題の研究および応用を促進し、経営情報学の確立と産業の進歩発展に寄与することを目的として1992年4月に設立



されました。したがって、2022年4月で満30歳を迎えることとなります。この節目に、学会の30年間の振り返り、情報社会がどう変わってきたのか、何が変わらないのか、それは変わるべきなのか、そうでないのかななどを議論し、そして、その結果を踏まえて、当学会の中長期的ビジョンと成長戦略を策定し、今後の具体的なアクションに繋げていきたいと思えます。

学術知と実践知の萌芽を大切に、それを育てていくという、妹尾前会長の掲げた学会の方針を引き継ぎ、今後のより良い情報社会の実現に貢献できる学会、会員の皆様がやりがいを持って活動できる学会を目指し、副会長、理事の協力のもと、全力を挙げて職務を全うする決意であります。会員の皆様のご支援を心からお願いいたします。